

いじめのない学校を目指して

子どもたちへ

友だち同士で助け合って、毎日、学校生活を楽しく過ごせていますか。

- ◎ 何気ない言葉や行動が友だちの心を傷つけていませんか。
- ◎ 気に入らないからと言って、友だちにきつく当たっていませんか。
- ◎ メールやネット上などに遊びのつもりで書いた悪口で友だちを傷つけていませんか。
- ◎ 友だちを笑いのネタにしていませんか。

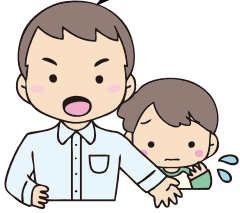


これらはすべていじめです

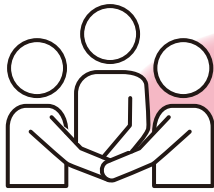
いじめは決して許されないものです。
あなたも人の気持ちを考えられる人になる。
一人ひとり大切な人、かけがえのない存在です。

“いじめられている”あなたへ

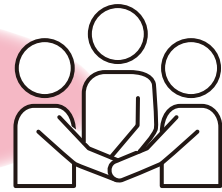
- ◎ つらいですね。味方は必ずいます。
- ◎ あなたは悪くありません。
- ◎ あなたは、かけがえのない大切な存在です。



気になることがあれば、**すぐに先生やまわりの大人に相談しよう。**
決してつげ口ではありません。



いじめを
しない
させない
ゆるさない



保護者の皆さんへ

子どもたちが変わった様子はありませんか。

- ◎ どの子どもも、いじめの被害者にも加害者にもなりえます。
- ◎ スマホ等を子どもに与える前に家庭で話し合い、使い方の約束を決めることが重要です。
- ◎ 自分のことを考えてくれる、見つめてくれる親の気持ちは子どもの心に安心感を与えます。



“いじめられているかも”チェックポイント

- 家に帰って元気がない（「ただいま」の声など）。
- 持ち物に落書きがある。
- 服が汚れている。
- 物をよくなくす。
- 食欲がない。
- 朝になると身体の不調をよく訴える。
- 弟、妹をいじめたり、親に反抗的である。
- 顔や背中、腕など、体にあざがある。

チェックがあれば

じっくり
学校や友人等の話を聞きましょう。

原因が分らない場合

学校の担任の先生に相談しましょう。

“いじめられているかも”チェックポイント

- 買ってもないものを持っている。
- 言葉づかいが悪くなった。
- おこづかい以上のお金を使っている（持っている）。
- 反抗的な態度をとるようになった。

チェックがあれば

お金や物の管理について子どもと確認しましょう。もし友人からもらっていた場合は、子ども同士の金品のやりとりはしてはいけないことを教えましょう。

言葉遣いの変化や反抗的な態度の原因について、しっかり話し合いましょう。

解決にむけて

- 「心の居場所」となる家庭づくりに努めましょう。
- 子どもが安らげる場にしましょう。
- 子どもを温かく見守り、十分に目を配りましょう。
- 学校（先生、スクールカウンセラー等）に相談しましょう。
- 関係機関に相談しましょう。

解決にむけて

- 子どもの小さなサインも見逃さず、しっかり寄り添い、子どもの心を聞くように努めましょう。
- 「いじめられる側も悪い」という考えはなくしましょう。
- 学校（先生、スクールカウンセラー等）に相談しましょう。



かけがえのないわが子を守るために

- 子どもの気持ちを受け入れ、共感する。
- 「最後まで守りぬく」ことを伝える。
- 「いじめられる側にも理由がある」などの考えはいけません。



● 問い合わせ先／学校指導課 ☎072-780-3534